

一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会 主催
2026年度 同種造血細胞移植後フォローアップのための
看護師研修会【e-learning 講義および演習】のご案内

■ e-learning 受講期間：2026年7月24日（金）～9月11日（金）

■ 演習：【東京】10月17日（土）／【大阪】11月7日（土）

*演習は東京、大阪のいずれかの会場で受講いただきます。



2026年度 同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会
【e-learning講義および演習】について

2026年 4月吉日

日本造血・免疫細胞療法学会

日本造血・免疫細胞療法学会看護部会では、2012年度より、同種造血幹細胞移植後患者の外来フォローアップに関わる看護師を対象としたe-learning講義と対面演習を組み合わせた研修を開講しています。

本研修は、移植後患者指導管理料算定における「適切な研修」として位置づけられています。これにより、移植成績の向上と造血細胞移植患者のQOL向上に貢献する看護師の育成を目指しています。

なお、本研修は個人的な学習ではなく、外来フォローアップを実践する看護師を対象としています。

1. 研修プログラムの目的

- 1) 同種造血幹細胞移植後患者の外来でのフォローアップに継続的に関わり、患者の多様な病態・課題に対して適切に指導／介入ができる看護師を育成する。
- 2) チーム医療をリードし、医師と協働しながらフォローアップ体制の充実と医師の負担軽減に貢献できる看護師を育成する。

2. 研修プログラムの受講資格

原則：下記①②③を満たし、かつ④⑤のいずれかを満たしていること

- ① 日本造血・免疫細胞療法学会員（正会員または一般会員）であり、年会費を完納している、または受講決定後、期日までに入会手続きを行う意志がある
- ② 「造血細胞移植を含む血液・造血器腫瘍疾患看護にかかわる看護師のクリニカルリーダー」レベルⅢ^{*a}相当の者である
*a クリニカルリーダーレベルⅢとは「臨床現場で生じている事象に対する自分の働き方がわかり、周囲の状況をマネジメントし、個別性を重視した柔軟な対応（患者教育やスタッフ指導も含む）ができる。リーダーとして活動できる」レベルをいう。詳細は学会HP参照（看護部会作成の「[造血細胞移植を含む血液・造血器腫瘍疾患看護にかかわる看護師のクリニカルリーダー](#)」）。
- ③ 看護師実務経験4年以上かつ造血細胞移植医療に2年以上従事した経験^{*b}がある
*b 造血細胞移植医療に従事するとは、入院移植患者看護、移植患者の外来看護（患者あるいはドナーコーディネートも含む）などをさす。
- ④ 所属診療科は、非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科の認定基準（移植施設認定基準）による認定診療科（LVC含む）に該当する（ただし要件⑤を満たす場合、必ずしも本要件満たしていなくとも可とする）
- ⑤ 【所属診療科が移植施設認定基準による認定診療科（LVC含む）に該当しない場合】所属診療科の移植件数（TRUMP data）は以下を満たしている
成人：前年12か月（2025年1月～12月）に同種造血幹細胞移植6例を施行
小児：前年12か月（2025年1月～12月）に同種造血幹細胞移植3例を施行
または前年までの3年間に同種造血幹細胞移植5例を施行

例外1：（上記②～⑤の一部または全部を満たさない場合）下記⑥を満たしていること

- ⑥ 造血細胞移植看護基礎研修Ⅰ・Ⅱ（講義）、Ⅲ（見学実習）^{*c}を受講し修了証を得ている、またはe-learning開講までに修了見込み^{*d}である
*c 造血細胞移植看護基礎研修プログラムの詳細は[学会HP参照](#)
*d 基礎研修Ⅰ～Ⅲの全ての修了証（写し）を提出すること

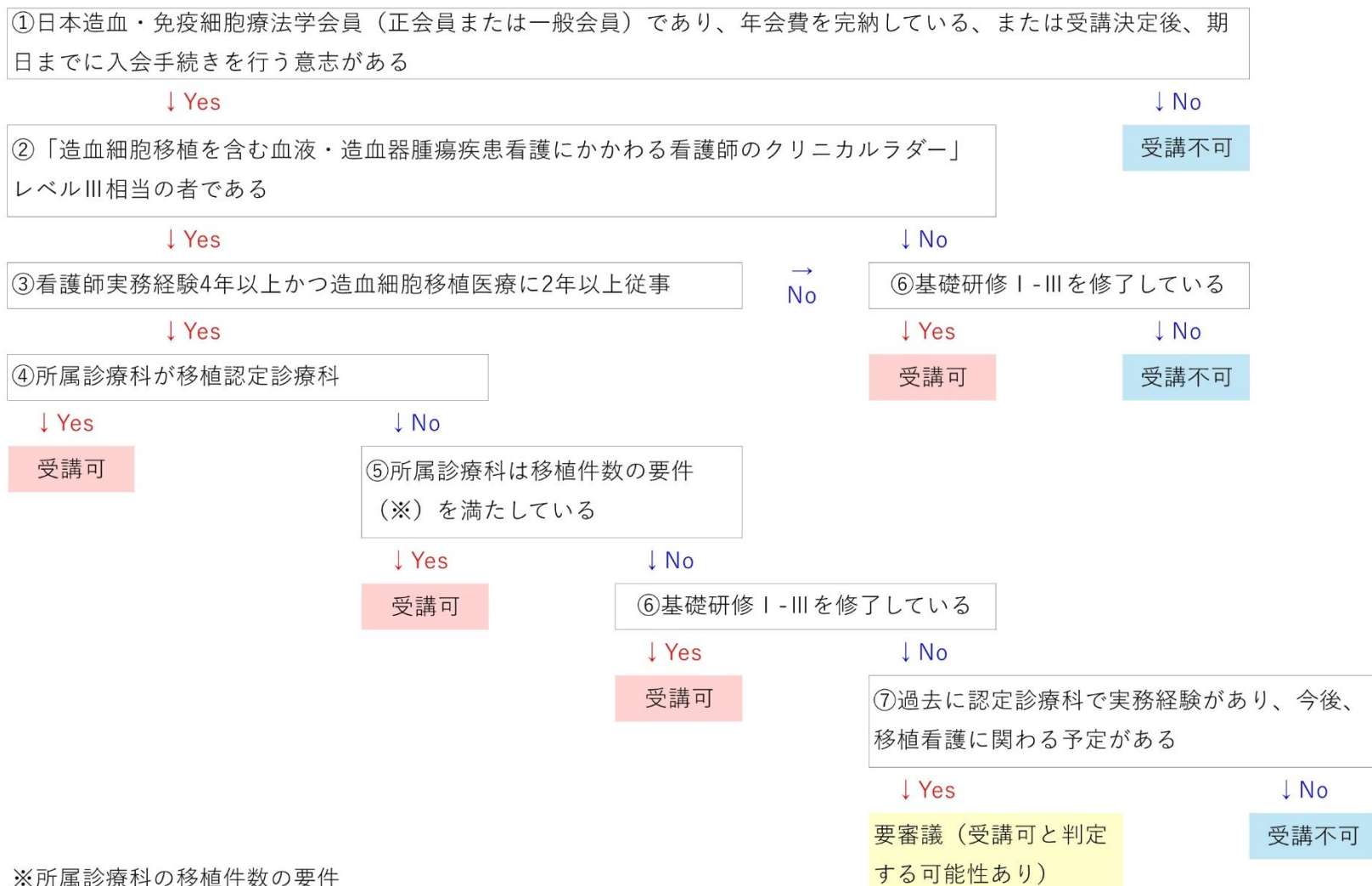
例外2：（上記②～⑤の一部または全部を満たさず、⑥も満たさない場合）

下記⑦に該当する場合、看護部会の審議により受講可否を決定する

- ⑦ 過去に移植認定診療科（現在の所属施設と異なる場合も含む）で実務経験があり、今後LTFUに関わる予定の者

※該当する場合、受講申請フォームの入力を進めていくと「過去に移植認定診療科で実務経験があり、今後LTFUに関わる予定があるかどうか」を記入する欄が表示されるため、過去の実務経験の内容、経験時期・年数等および今後LTFUに関わる予定を詳しく記載すること

参考：受講可否判定フローチャート



※所属診療科の移植件数の要件

成人：前年の同種移植実績が6件以上

小児：前年の同種移植実績が3件以上または前年以前の過去3年間の移植実績が5件以上

3. 研修内容（研修プログラム）

【形式】 e-learning講義 + 対面演習

【e-learning講義】

- ・ 1コマ約40分 × 全18コマ
- ・ WEBサイトより受講（PC・スマートフォン対応）
- ・ 修了には確認テストの合格が必要

【対面演習】

- ・ 症例検討（グループ討議）
- ・ ロールプレイ等

4. 講師

- ・ 学会理事・評議員等の医師
- ・ 学会看護部会委員
- ・ 造血細胞移植拠点病院の講師（ほか）

5. テキスト

『同種造血細胞移植フォローアップ看護』（2026年6月発行予定・第3版（南江堂））

※受講料に含まれます（事前送付）

参考：造血細胞移植ガイドライン（LTFUガイドライン,学会HP参照）

https://www.jstct.or.jp/uploads/files/guideline/04_01_ltfu.pdf

6. 対面演習の事前課題と当日資料

- ・ e-learning受講完了後に事前課題を配布。
- ・ 東京もしくは大阪会場での演習参加前に、指定された事前課題を実施し、実施後のシートは当日持参すること。

7. 研修日程と会場 ※会場は決定次第ご案内いたします。

【e-learning】 2026年7月24日（金）～9月11日（金）

【対面演習】

- ・ 東京：2026年10月17日（土）
- ・ 大阪：2026年11月7日（土）

※いずれか1会場に参加（申込時に希望確認有、会場は希望に沿えない場合があります）

※e-learning未修了の場合、演習には参加できません

※e-learning講義は、受講期間内であれば、いつでも受講可能です

※演習は遅刻・早退の場合、修了と認められません

8. 募集定員

200名程度

9. 受講費

受講料：23,000円（税込）【会場費、教材費、講師交通費、e-learning運営費など】

10. 受講までのスケジュール

- 6月26日（金）：受講申請締切
- 7月10日（金）：受講可否通知
- 7月17日（金）：入会手続き・受講費納入締切
- 7月24日（金）：教材発送・受講案内送付
- 7月24日（金）～9月11日（金）：e-learning受講期間

11. 受講申請方法

1) 申請の流れ

Step1:受講条件証明書の作成（署名取得）と提出（フォーム添付 または 郵送・FAX）

Step2:申請フォームからの申請（必要事項入力・受講条件証明書ファイルのアップロード）

2) 申請の流れの詳細

・ Step1:受講条件証明書の作成と提出

①証明書の作成

[こちらから受講条件証明書の様式をダウンロード](#)し、貴施設（診療科）の移植責任医師および看護部長より署名（自署）を得る。

②証明書の提出

提出方法 1：受講申請フォーム内のアップロード

署名（自署）済みの受講条件証明書をスキャン（または写真撮影）し、PDFファイルまたは画像ファイルで、下記「受講申請フォーム」内の指定箇所にアップロードする。

提出方法 2：郵送・FAXで提出

署名（自署）済みの受講条件証明書を、締め切りまでに、FAXまたは郵送にて、6ページ記載の「お問い合わせ先」まで送る。

・ Step2：受講申請フォームからの申請

下記の受講申請フォームに必要事項を入力の上、申請する。

受講申請フォーム：<https://ws.formzu.net/dist/S80598368/>

※受講条件証明書を受講申請フォーム内にアップロードする場合は、ご自身でPDFファイルまたは画像ファイルを準備する。

※上記の受講申請フォームから学会への入会申込が可能。当該年の年会費を予めご納入し、払込受領証、明細書等をフォーム内で添付する。振込先は、本学会HP「[入会申込](#)」から年会費の振込先を確認し納入する。

3) 留意事項

- ・ **同一施設からの複数人の受講について**：会場収容定員に限りがあるため、同一施設で複数名の受講申請がある場合、人数制限する場合があります。その場合はご施設に連絡いたします。予めご施設で優先順位を付けていただき、申請フォームの備考欄に記載してください。
- ・ **学会からの連絡について**：受講決定の通知や講義・演習等に関する連絡事項は、Eメールで送信します。受講申請に際しては、受講者ご本人が受信確認でき、添付ファイルを受信できるメールアドレス（パソコンのメールアドレスなど）をご登録ください。
- ・ **修了証について**：e-learningと演習の全課程修了者に発行します。

<受講申請締め切り>

受講申請締め切り：2026年6月26日（金）

受講費 振込先（受講決定後）

※受講費は23,000円（税込）となります。

※下記の振込口座まで参加費のお振込みをお願いいたします。

※年会費お振込口座とは異なりますので、ご注意ください。

【振込先】 りそな銀行 名古屋駅前 支店（店番：721）
預金種目：普通 口座番号：1904912
名 義：一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会

振込みにあたっては、お名前を必ずお書き添えください。（振込手数料はご負担をお願いいたします。） 払込受領証（原本）は、受領書として保管をお願いいたします。

お問い合わせ先

一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会 事務局
〒451-0042 名古屋市西区那古野2丁目23-21-7d号
Tel：052-766-7127 Fax：052-766-7137
E-mail：jstct_office@jstct.or.jp <https://www.jstct.or.jp/>

受講条件証明書

下記の者が当施設において「2026年度同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会」参加の前提となる以下の受講要件を有していることを証明するとともに、同研修会へ受講申請することを承認いたします。

<受講要件> ※必ず以下をご確認の上、ご署名ください

- ① 日本造血・免疫細胞療法学会員（正会員または一般会員）であり、年会費を完納している、または受講決定後、期日までに入会手続きを行う意志がある
- ② 造血細胞移植を含む血液・造器腫瘍疾患看護にかかわる看護師のクリニカルラダー（学会HP参照）レベルⅢ相当の者である
- ③ 看護師実務経験4年以上かつ造血細胞移植医療に2年以上従事した経験がある
- ④ 所属診療科は、非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科の認定基準（移植施設認定基準）による認定診療科（LVC含む）に該当する（ただし要件⑤を満たす場合、必ずしも本要件満たしていなくとも可とする）
- ⑤ 【所属診療科が移植施設認定基準による認定診療科（LVC含む）に該当しない場合】
所属診療科の移植件数（TRUMP data）は以下を満たしている
成人：前年12か月（2025年1月～12月）に同種造血幹細胞移植6例を施行
小児：前年12か月（2025年1月～12月）に同種造血幹細胞移植3例を施行
または前年までの3年間に同種造血幹細胞移植5例を施行
- ⑥ 【上記②～⑤の一部または全部を満たさない場合】
造血細胞移植看護基礎研修Ⅰ・Ⅱ（講義）、Ⅲ（見学実習）を修了している、またはe-learning開講までに修了見込みである
- ⑦ 【上記②～⑤の一部または全部を満たさず、⑥も満たさない場合】
過去に移植認定診療科（現在の所属施設と異なる場合も含む）で実務経験があり、今後LTFUに関わる予定がある

以下にご署名（自署）ください ※必ず上記をご確認の上、ご署名ください

署名日（西暦） 年 月 日

受講申請者氏名：

施設名：

診療科名：

署名日（西暦） 年 月 日

移植責任医師名：

署名日（西暦） 年 月 日

看護部長名：

※移植責任医師の署名欄について同種造血細胞移植を未実施施設の方は血液内科責任医師の署名で可とします

提出前チェックリスト

不備がある場合、受講できない可能性がありますので、十分に確認の上提出をしてください。

【1. 受講資格について】

- 学会員で年会費は完納している、または、指定期日前に入会する予定である
- クリニカルラダー レベルⅢ相当である
- 看護師実務経験が4年以上ある
- 造血細胞移植医療に2年以上従事した経験がある
- 上記に該当しない場合、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修了した(または修了見込みである)

【2. 施設要件の確認】

- 所属診療科が認定診療科である、または必要な移植件数基準を満たしている
- 非認定診療科の場合、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了等の条件を満たしている

【3. 受講条件証明書】

- 証明書は、所定の様式を使用している
- 受講申請者本人の記載内容に誤りがない
- 移植責任医師の署名(自署)を取得している
- 看護部長の署名(自署)を取得している
- 署名日が記入されている

【4. 申請フォーム】

- 受講申請フォームに必要事項をすべて入力した
- 記載内容に誤字・入力漏れがない
- メールアドレスは添付ファイルを受信可能なものを登録している
- 受講条件証明書を提出した(または郵送・FAXで送付する準備ができています)
- 年会費を納入した場合は、払込受領証、明細書等をフォーム内で提出した
- 同一施設で複数名の受講申請がある場合、優先順位を備考欄に記載した

【5. 提出方法の確認】

- 申請フォームからの送信と証明書提出の両方を行うことを理解している
- 郵送・FAXの場合、締切までに到着する見込みである

【6. 最終確認(重要)】

- 上記すべてにチェックが入っている